

令和6年度の主な事業

総務費

デマンドタクシーの配車調整業務の効率化のため、AIを活用した配車システムを導入しました(令和7年1月6日より開始)。また、わかものまちづくり推進事業として、新たに「高校生まちづくりスクール」を開催し、若者世代が自分の興味関心とまちの資源や課題を掛け合わせ、マイプロジェクトづくりに取り組む活動を行いました。

民生費

第2子以降(0歳児～2歳児)の保育料無償化を実施したほか、低年齢児の育児を家庭で行う在宅育児世帯への支援として、在宅育児手当の支給を行いました。また、入所待ち児童が認可保育施設に入所可能となるまでの受け皿を整備するため、東海村緊急保育所を設置しました(令和7年2月1日に開所)。

衛生費

前年度に引き続き、妊婦・子育て家庭が安心して出産し子育てができる環境を整備するため、伴走型の支援と併せてこども商品券を支給しました。また、公共施設への再生可能エネルギー導入を促進するため、役場と東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」にて太陽光発電設備設置工事を行いました。

農林水産業費

農地の将来的な確保と地域農業の持続的な発展を図るため、農業者や地域の関係者と共に将来の農地利用の姿を明確化するための「地域計画」を策定しました。
また、農業者が6次産業化に取り組む際に必要となる農林水産加工・販売施設等の整備に必要な経費の一部を補助する「農山漁村発イノベーション整備事業」を実施しました。

商工費

東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」の外装改修工事を行いました。また、本村の持つ資源や強みを最大限に活用し、「足腰の強い産業」の育成と活力あるまちづくりを目指すため、今後10年間の取り組みの具体的な方針と行動計画を定めた「東海村産業振興ビジョン」を策定しました。

土木費

近年の記録的な大雨や台風による風水害への対策として、1号根崎調整池の整備に着手したほか、白方街道踏切付近の安全を確保するため、白方街道踏切歩道の整備を進めました。また、村が管理する道路の維持補修を計画的に行い、交通の利便性や安全性の向上に努めました。

教育費

文教地区駐車場の整備を進めたほか、石神小学校校舎長寿命化外装改修工事を行いました。また、奨学金を返還しながら働く若者への経済的支援として、前年度の奨学金返還額に対して補助金を支給しました。

令和6年度

東海村の 決算報告

令和6年度の決算を振り返り、皆さんの納めた税金などがどのように使われたのかを報告します。

なお、詳しい資料などは財政経営課で閲覧できるほか、村公式ホームページからご覧いただけます。

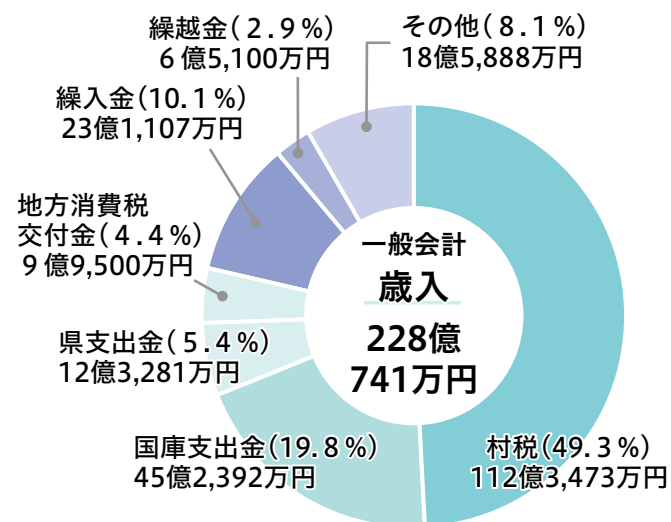
【問い合わせ】財政経営課財政担当(☎282-1711 内線1333・1334) ▲HPIはこちら



一般会計の決算状況

一般会計は、福祉や教育、道路の整備など村政運営の基本となる会計です。令和6年度の歳入決算額は228億741万円、歳出決算額は220億2,541万円、歳入歳出差引額は7億8,200万円となり、令和7年度に実施する事業の財源として4億452万円を繰り越したことから、実質的な差額は3億7,748万円になりました。事業の効率化等により歳出削減に努めていますが、経常的な経費が増加傾向にあるため、新たな財源の確保に努めるなど、引き続き健全な財政運営に努めていきます。

歳入 228億741万円 (前年度比+9億6,406万円)



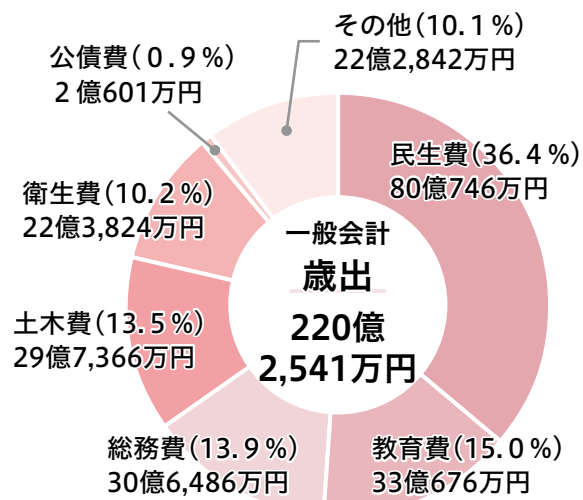
歳入の内容

区 分	主 な 内 容
村税	村民税や固定資産税、都市計画税などの税金
国庫支出金	村の特定の事業に対し国から交付されたお金
県支出金	村の特定の事業に対し県から交付されたお金
地方消費税交付金	消費税の一部が交付されたお金
繰入金	基金や他会計から一般会計に移したお金
繰越金	前年度決算の剰余金
その他	使用料や手数料、交付金、村債など

【主な増減(前年度決算額比)】

- 村税 ▲3億7,078万円(固定資産税の減など)
- 国庫支出金 +5億4,028万円(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増など)
- 繰入金 +14億3,369万円(財政調整基金繰入金の増など)
- 地方消費税交付金 +5,750万円

歳出 220億2,541万円 (前年度比+8億3,306万円)



歳出の内容

区 分	主 な 内 容
民生費	福祉や医療などに使われたお金
教育費	幼稚園や小中学校、社会教育などに使われたお金
総務費	村の運営全般に使われたお金
土木費	道路や公園の整備・管理などに使われたお金
衛生費	保健衛生や環境衛生、ごみ処理などに使われたお金
公債費	村債の元金や利子の償還に使われたお金
その他	議会・農林水産業・商工・消防などに使われたお金

主な増減(前年度決算額比)

- 民生費 +13億4,260万円(子どものための教育・保育給付費の増など)
- 土木費 +3億9,269万円(白方街道踏切歩道設置工事負担金の増など)
- 公債費 ▲6,118万円(過年度借入れに対する元金の償還が進んだため)

特別会計の決算状況

国民健康保険や介護サービスなどの特定の事業を行うために一般会計と区別して運営する会計です。

会 計 名	歳 入	歳 出	差し引き
国民健康保険事業会計	30億9,927万円	30億7,276万円	2,651万円
後期高齢者医療会計	6億5,034万円	6億4,777万円	257万円
介護保険事業会計	30億7,118万円	29億9,473万円	7,645万円
介護サービス事業会計	351万円	275万円	76万円
東海駅西土地区画整理事業会計	6,024万円	3,154万円	2,870万円
東海駅東土地区画整理事業会計	1,424万円	1,424万円	0万円
東海中央土地区画整理事業会計	9億1,047万円	7億496万円	2億551万円
那珂地方公平委員会会計	79万円	4万円	75万円

公営企業会計の決算状況

住民の福祉の増進を目的として、主に料金収入によって経営される会計です。

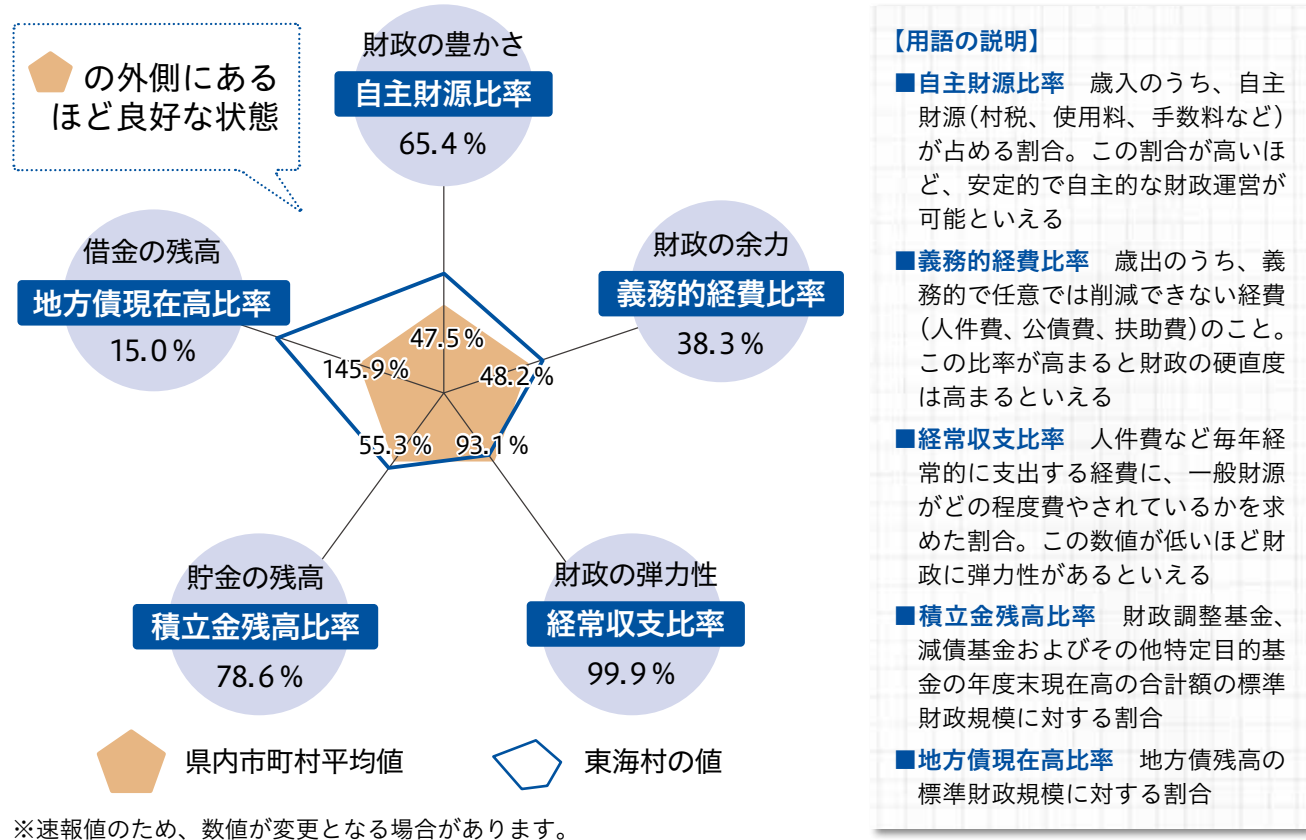
会計名	収益的収入※1	収益的支出※1	資本的収入※2	資本的支出※2
水道事業会計	8億5,403万円	8億1,535万円	3億9,941万円	7億4,286万円
病院事業会計	3億4,041万円	3億6,219万円	0万円	3億4,219万円
下水道事業会計	13億1,321万円	12億1,635万円	4億9,859万円	9億1,789万円

※1…水道供給や診療、下水処理などの運営に関する収支 ※2…管路や施設、機器の整備更新に関する収支

財政指標で見る 東海村

■他自治体と比べて良好

事業者からの固定資産税などが多いため、自主財源比率は他自治体と比べて高い水準にあり、国や県からの支出金などに頼らない安定的な歳入(収入)構造になっています。その一方で、施設の維持管理費や福祉・教育分野などの経常的な経費は増加傾向にあります。令和6年度は教育施設の災害復旧工事や長寿命化外装改修工事の資金調達を地方債(借入金)で補ったことにより地方債現在高比率が増加しましたが、これまで地方債の発行を抑制し、その償還(返済)に努めてきたことから、他自治体と比べて低い水準にあり、財政の健全性は引き続き確保されています。



現在の取り組みと今後の財政運営の方針

今年度は、新たに「こども・わかもの応援給付金」の支給や「保育料無償化」・「東海村在宅育児手当」の拡充など、子育て世帯への経済的支援をより一層推進しています。また、「とうかい住まいる応援補助金」の支給など、転入促進に向けた取り組みのほか、若い世代がまちを知り、好きになり、やりたいことにチャレンジできる環境づくりに取り組むなど、将来の人口減少を見据えながら、東海村が選ばれるまちになるための事業を展開しています。

また、村に新たなにぎわいを生み出すため、村松地区の活性化に向けた阿漕ヶ浦公園周辺の整備を進めるとともに、住民の利便性と満足度を高めるため、「書かない窓口」・「迷わない窓口」などの実現を目指し窓口・オフィス改革を進めています。さらに、近年の台風や記録的な大雨による雨水浸水被害対策の推進など、誰もが安心して暮らせる、住みやすい地域づくりに力を入れています。

東海村は健全な財政状況といえますが、今後の税収減や社会保障関連経費・人件費などの増加による歳出増を見据え、事業の効率化・重点化により歳出削減に努めていきます。また、国や県からの補助金の活用など、新たな財源の確保等を行い、引き続き継続的に安定した行政サービスを行えるよう中長期的な見通しを立てて事業を行っていきます。

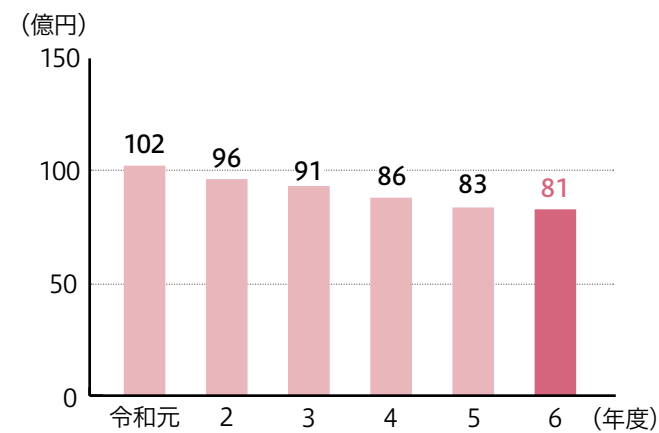


借金と貯金で見る 東海村

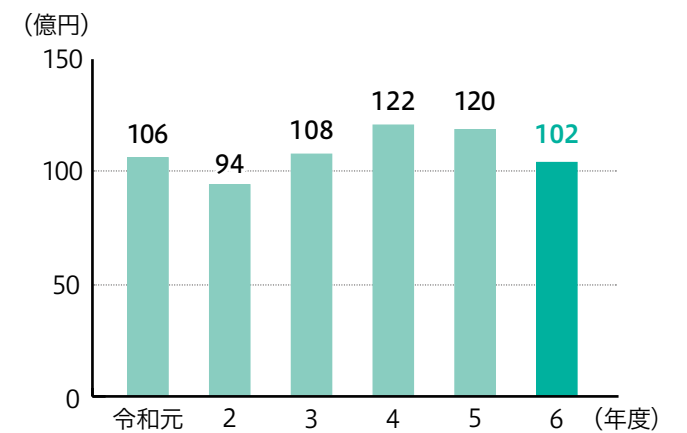
借金(村債)は、過去に借り入れた分の返済が進み、前年度と比べて2億円減少し、残高は81億円となりました。

また、貯金は、財政調整基金や減債基金などの取り崩しにより、前年度と比べて18億円減少し、残高は102億円となりました。

村の借金(全会計村債残高)の推移



村の貯金(基金残高)の推移



健全化判断比率等で見ると東海村

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(平成19年法律第94号)に基づき、財政の健全度を示す「健全化判断比率」と「資金不足比率」と呼ばれる以下の指標を算定しました。各指標とも、国の定めた基準のうち、黄色信号である早期健全化基準を下回っており、東海村の財政は健全といえます。

